

情報戦隊マモルンジャー制作意図

山口市立大殿小学校 古屋伸浩

■ 制作意図

テレビやインターネット上には、学習に役立つ情報だけではなく児童にとって有害な情報も存在する。学校においては、教師の指導の下で利用するため、児童が誤って偽りの情報を引き出したとしても、学習集団の中で訂正することが可能である。しかし、各家庭にも様々な情報機器が普及してきた今、教師や保護者の目の届かないところで児童がだまされるなどの被害を受ける心配がでてきた。

本教材は低学年を対象とするため、正義のヒーローとなるキャラクターを設定し、児童の印象に残りやすいような展開を考えた。登場する5人にはそれぞれ次のような問題を担当させることにした。

- ・マモルレッド：Webページの偽りの情報（真っ赤なウソを見破るレッド）
- ・マモルブルー：テレビショッピング（通信販売で青ざめる人を救うブルー）
- ・マモルピンク：不審電話や個人情報（不審者情報にはピンとくるピンク）
- ・マモルイエロー：著作権（著作権違反にはイエローカードを出すイエロー）
- ・マモルシルバー：健康問題（何でも知っている物知りシルバー）

■ 場面設定

時は2020年、ネット社会はますます加速化し便利になっている。教室は電子黒板に変わり、子どもたちの机にも画面と通信機能が備わり、あらゆるものがネットにつながれるようになった。

一方、ネットワークを混乱させ、誤った情報を送りつけるネット海賊「ウイルス軍団」が密かに活動を始めていた。この海賊の最高幹部で、世界征服を狙っているのが「バグ帝王」。世界の平和を守るために立ち上がった5人の戦士たちは、得意な分野で大活躍をして、悪の軍団に立ち向かう。

■ 対象者

小学校低学年

■ キャラクターデザイン

全て、ワードアートで簡単に描ける模様とした。



情報戦隊マモルンジャー使用方法

山口市立大殿小学校 古屋伸浩

■ 準備物

DVD再生機・テレビまたはプロジェクタ・マモルンジャーからのお願いカード

■ 学習の流れ

1話当たり約3分20秒程度の短い内容なので、朝の時間や帰りの時間等を利用して、繰り返し視聴することができる。どの話も最後に「どうすればいいの？」と投げかけているので、視聴後に話し合いをもつことが有効である。

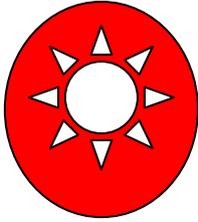
■ 各コンテンツのねらい

- ・ 1話：マモルレッド：Web上の偽りの情報から正しい情報を取捨選択できるようにさせる。
- ・ 2話：マモルブルー：テレビや広告に惑わされない賢い消費者になるための基礎を身に付けさせる。
- ・ 3話：マモルピンク：個人情報聞き出す不審電話にだまされないように気をつけさせる。
- ・ 4話：マモルイエロー：他人が作ったものには著作権があり、勝手に使用してはいけないということを知らせる。
- ・ 5話：マモルシルバー：長時間のパソコン操作による健康問題について考えさせる。

■ オリジナル主題歌

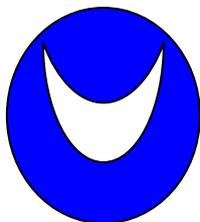
ビデオ教材にはどの回にも冒頭に1分ほどのオリジナルの歌を挿入し、それを口ずさむことで親しみを持たせると同時に、モラルの内容を盛り込んだ歌詞の内容が頭に残りやすいように意図した。(歌詞カードを配布する)

「情報戦隊マモルンジャー」 作詞・作曲 古屋伸浩
ブロードバンドに黒い影 バグ帝王の悪だくみ
ネットのモラルをまもるため 立ち上がった5人の戦士
ゴーゴーアクセス マモルンジャー プライバシーを守るため
チェック チェックスキャン マモルンジャー パスワード人に教えちゃいけない
あやしいメールは 開いちゃだめさ 情報戦隊マモルンジャー



生活科（総合学習）情報モラル指導略案

大項目	WWW
小項目	Web ページ（偽りの情報）
タイトル	情報戦隊マモルンジャーNo.1「真っ赤なうそは、いけんのジャー！」の巻
主な対象	小学校 低学年
ねらい	Web 上の偽りの情報から正しい情報を取捨選択できるようにさせる。
作成の意図	<p>Web ページには見る人に迷惑をかけるために制作者が意図して偽りの情報を掲載したり、迷惑をかけるつもりはなくても勘違い等から誤った情報が掲載されたりすることがある。</p> <p>家庭用ゲーム機やパソコンでのゲームを楽しむ小学生は、多数の攻略本や裏技が書いてある掲示板などから情報を得ようとするので、保護者が知らないうちにだまされるケースが考えられる。ゲームのデータの紛失程度であれば日常生活への被害は大きくないが、ネット詐欺や著作権侵害等への発展も考えられるので低学年のうちから偽情報の存在を意識することが大切である。</p> <p>そこで、このコンテンツを利用して、Web 上に潜む偽りの情報の実態について身近なゲームを通して考えさせたい。</p>
指導内容	<ul style="list-style-type: none">・ホームページや掲示板には間違った情報も掲載されている場合があること。・おかしいなと思ったときは、必ず家の人に相談すること。
説明の方法	<ul style="list-style-type: none">・紙芝居またはパソコン上でスライドショーを再生する。・オープンエンドなので、「タダシ君はどうすればいいでしょう」となげかけて、クラスで話し合いをする。



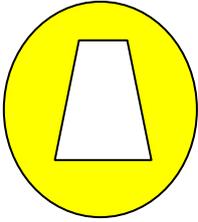
生活科（総合学習）情報モラル指導略案

大項目	その他
小項目	テレビや広告（テレビショッピング・ネットショッピング）
タイトル	情報戦隊マモルンジャーNo.2「勝手に買い物困るんジャー」の巻
主な対象	小学校 低学年
ねらい	テレビや広告に惑わされない賢い消費者になるための基礎を身に付けさせる。
作成の意図	<p>ダイエットブームや健康ブームの影響からか、テレビや新聞広告では連日のように消費者の購買意欲をそそるようなうたい文句で通信販売の情報があふれている。テレビの多チャンネル化で、ショッピング専用の番組さえある。</p> <p>商品の多くは成人向けであるが、小学生が欲しくなるような商品も販売されていることもある。実際の購入手続きでは未成年が購入するには保護者の同意が必要であるが、葉書による申し込みやネットショッピングでは、大人に成りすまして注文しないとも限らない。</p> <p>そこで、このコンテンツを利用して、通信販売の便利さを知るとともに将来の賢い消費者になるためにはどうすればいいかを考えさせたい。</p>
指導内容	<ul style="list-style-type: none">・テレビショッピングなどの通信販売は便利な反面不要なものも購入してしまう場合があること。・実際の商品を見ないで購入することには落とし穴があるということ。
説明の方法	<ul style="list-style-type: none">・紙芝居またはパソコン上でスライドショーを再生する。・オープンエンドなので、「タダシ君はどうすればいいでしょう」となげかけて、クラスで話し合いをする。



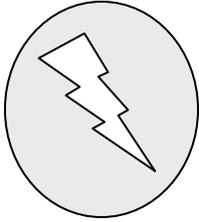
生活科（総合学習）情報モラル指導略案

大項目	その他
小項目	不審電話 個人情報
タイトル	情報戦隊マモルンジャーNo.3 「あやしい電話には気をつけるんジャー」の巻
主な対象	小学校 低学年
ねらい	個人情報を聞き出す不審電話にだまされないように気をつけさせる。
作成の意図	<p>電話番号や住所などの個人情報がお金になり、自分たちの知らないところで取引され、さまざまな勧誘に利用されている。</p> <p>情報を聞き出す手口も年々巧妙化して、大人でさえだまされることがあるので、一人で留守番をしている小学生にとっては脅威である。</p> <p>そこで、このコンテンツを利用して、不審電話の実態を知るとともに、その対応について考えさせたい。</p>
指導内容	<ul style="list-style-type: none">・不審電話がかかってきたときには一人で対応しないこと。・留守番をしているときに知らない人から電話がかかったときには、相手の名前と電話番号を聞いてこちらからかけなおすと対応すること。
説明の方法	<ul style="list-style-type: none">・紙芝居またはパソコン上でスライドショーを再生する。・オープンエンドなので、「タダシ君はどうすればいいでしょう」となげかけて、クラスで話し合いをする。



生活科（総合学習）情報モラル指導略案

大項目	その他
小項目	著作権（全般）
タイトル	情報戦隊マモルンジャーNo.4「勝手にコピーはいけないんジャー」の巻
主な対象	小学校 低学年
ねらい	他人が作ったものには著作権があり、勝手に使用してはいけないということを知らせる。
作成の意図	<p>パソコンの普及により手軽に複製が可能となり、いろいろな著作物がコピーされている現状がある。学校内では教師や児童・生徒は教育的な利用は許されているが、その範囲を正しく理解し厳密に守っているかといえば疑問である。</p> <p>マンガのキャラクターを書き写したり、音楽CDをコピーしたりは日常的に子ども達も行っているが、小学生だから個人で楽しむ範囲を越えないとも限らない。</p> <p>そこで、このコンテンツを利用して、著作物の扱い方とその権利を守るためにはどうすればいいかを考えさせたい。</p>
指導内容	<ul style="list-style-type: none">・他人が作った作品を勝手にコピーしたり販売したりしてはいけないということ。
説明の方法	<ul style="list-style-type: none">・紙芝居またはパソコン上でスライドショーを再生する。・オープンエンドなので、「タダシ君はどうすればいいでしょう」となげかけて、クラスで話し合いをする。



生活科（総合学習）情報モラル指導略案

大項目	WWW
小項目	健康問題（長時間のパソコン操作・ネット中毒・生活リズムの乱れ）
タイトル	情報戦隊マモルンジャーNo.5「時間を決めて使うんジャー」の巻
主な対象	小学校 低学年
ねらい	長時間のパソコン操作による健康問題について考えさせる。
作成の意図	<p>パソコンを通して情報を得ることは大変便利なことであるが、情報量の多さなどから目的の情報を得るまでに長時間かかることはよくある。また、ネットゲームをする場合なども際限なく使ってしまいがちである。</p> <p>特に子ども達は、ゲームに熱中するあまり中毒になることが予想されるので、幼い時期からの対策が必要である。</p> <p>そこで、このコンテンツを利用して、節度のあるパソコン（ゲーム機）利用の仕方を考えさせる機会としたい。</p>
指導内容	<ul style="list-style-type: none">・長時間の画面凝視や同じ姿勢は健康によくないこと。・中毒症状により、睡眠時間が少なくなるなどの生活の乱れが起こると、どのような弊害があるかということ。
説明の方法	<ul style="list-style-type: none">・紙芝居またはパソコン上でスライドショーを再生する。・オープンエンドなので、「タダシ君はどうすればいいでしょう」となげかけて、クラスで話し合いをする。

じょうほうせんたい
「情報戦隊マモルンジャー」

ブロードバンドに 黒いかげ
バグていおうの 悪だくみ
立ち上がった 5人のせんし
ゴー ゴー アクセス マモルンジャー
プライバシーを 守るため
チェック チェック スキャン マモルンジャー
パスワード人におしえちゃいけない
あやしいメールは ひらいちゃだめさ
じょうほうせんたい
情報戦隊マモルンジャー



じょうほうせんたい
「情報戦隊マモルンジャー」

ブロードバンドに 黒いかげ
バグていおうの 悪だくみ
立ち上がった 5人のせんし
ゴー ゴー アクセス マモルンジャー
プライバシーを 守るため
チェック チェック スキャン マモルンジャー
パスワード人におしえちゃいけない
あやしいメールは ひらいちゃだめさ
じょうほうせんたい
情報戦隊マモルンジャー



じょうほうせんたい
「情報戦隊マモルンジャー」

ブロードバンドに 黒いかげ
バグていおうの 悪だくみ
立ち上がった 5人のせんし
ゴー ゴー アクセス マモルンジャー
プライバシーを 守るため
チェック チェック スキャン マモルンジャー
パスワード人におしえちゃいけない
あやしいメールは ひらいちゃだめさ
じょうほうせんたい
情報戦隊マモルンジャー



☆ マモンジャーからのおねがい ☆

- ・ インターネットには、まちがったことが書いてあるページもあるので、気をつけましょう。
- ・ テレビやインターネットでの買い物は、家の人といっしょにしましょう。
- ・ あやしい電話がかかってきたら、すぐに切って、家の人にいいましょう。
- ・ 人がかいたイラストやキャラクターを、かってにつかわないようにしましょう。
- ・ 長い時間ゲームをすると、体に悪いので、時間をきめてしましょう。



☆ マモンジャーからのおねがい ☆

- ・ インターネットには、まちがったことが書いてあるページもあるので、気をつけましょう。
- ・ テレビやインターネットでの買い物は、家の人といっしょにしましょう。
- ・ あやしい電話がかかってきたら、すぐに切って、家の人にいいましょう。
- ・ 人がかいたイラストやキャラクターを、かってにつかわないようにしましょう。
- ・ 長い時間ゲームをすると、体に悪いので、時間をきめてしましょう。



☆ マモンジャーからのおねがい ☆

- ・ インターネットには、まちがったことが書いてあるページもあるので、気をつけましょう。
- ・ テレビやインターネットでの買い物は、家の人といっしょにしましょう。
- ・ あやしい電話がかかってきたら、すぐに切って、家の人にいいましょう。
- ・ 人がかいたイラストやキャラクターを、かってにつかわないようにしましょう。
- ・ 長い時間ゲームをすると、体に悪いので、時間をきめてしましょう。

